

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	すさみ町	代表者名	岩田 勉
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	地域未来課 DX推進室
担当者役職	主査	担当者氏名	上田 朋葉
住所	6492621 和歌山県すさみ町周参見4089		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名	連絡先電話番号	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	すさみ町強靱化テレワーク推進事業
概要	災害時における当町の業務継続性を確保し、住民への支援や情報提供を継続できるよう、テレワークの導入を推進します。		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム ネットワークインフラ デジタルデバйд対策 働き方 テレワーク		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	132K	令和6年7月18日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年7月18日	事前打合せ&支援・助言(実地)	13時30分	17時00分	
			活動時間(分)	210	
2-2. 派遣場所	会場名	すさみ町役場	最寄駅	周参見駅	
	所在地	和歌山県西牟婁郡すさみ町周参見4089	最寄駅からの交通手段	お迎えにまいります	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中窪 悟
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	中窪先生による「きもつきから作る、これからの自治体の役割」と題した講演は、当町のネットワーク環境を変革する上で、非常に有意義なスタートとなりました。特に、先生が「テクノロジーってなに?」や「変わることの意義」などの基本的な概念を職員目線でわかりやすく説明してくださった点が、大変よかったですと思います。多くの職員がネットワークに関する話題に対して抵抗感を持つ中、肝付町の事例は職員にとって自分事に置き換えやすく、今後変化していく環境をイメージしやすかったのではないかと思います。
アドバイザーへの要望事項	新たなネットワーク環境を構築するにあたり、中窪先生にはネットワーク事業者との協議で当町の立場に立ってご支援いただきたいと考えています。将来の自治体のネットワーク構成に関する専門的知識の提供とともに、高いセキュリティを備えたインフラ基盤の構築にご協力をお願いしたいと思います。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	61人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	61	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	新たなネットワーク環境を構築するにあたって、以下のようなことを課題や問題点と考えています。 1. 技術的な専門知識の不足： ネットワークについて、専門的な技術知識が不足しています。 2. セキュリティリスクの増加： 職員のネットリテラシーや基本的なIT知識の低い状態でネットワーク環境を拡張することが、セキュリティの将来像に段階的に近づける形で構築でき、さらにセキュリティ対策も強化されたネットワークを実現できます。これにより、職員が場所や時間に拘束されずに働くことができる職場環境を提供できます。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	中窪先生には、新たなネットワークの構築やITインフラの整備に関して、長期的に支援を求めています。この変化により、職員の働き方に大きな変更が生じることが予想され、これにより職員の間では不安が広がっています。このような状況を踏まえ、初めての取り組みである今回、町長や特別職を含む全職員が、今後の町のあり方を想像できるように、肝付町の事例を参考に改革の意義について教えていただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	令和8年3月の完成予定である新庁舎でフリーアドレス制の導入がトップダウンで指示され、これに伴いネットワーク環境の見直しを進めています。この変化に対して不安を抱える職員にとって、中窪先生の講演は改革の必要性と新しい働き方についての理解を深めるための重要な機会でした。講演を通じて、職員は新しい働き方を具体的にイメージできるようになり、その変化をポジティブに捉えるようになったと感じています。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	職員の間で改革に対する理解と支持を育むことができ、新しいITインフラとネットワーク構築に向けて前向きな機運が高まりました。これにより、町の将来像を想像しやすくなり、職員それぞれが改革を推進する主体者としての自覚を持ち、積極的な取り組みに対する動機付けができたと感じています。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。 短期間に多くの改革を実施する必要がある状況の中で、職員は業務に都合をつけて毎月様々な研修に参加しています。このような状況下で、職員が研修で学んだ情報を消化し、理解することに集中できるよう、追加的な負担をかけないよう配慮したためです。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	12月に補正予算を組み、プロポーザルの実施予算を計上する予定です。 1月にプロポーザルを実施する計画です。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	高いセキュリティ対策を施したITインフラを構築することにより、町は防災、教育、医療、そして町民サービス全般の向上を実現し、安全で快適な持続可能なコミュニティを目指します。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可	
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

